

東海地震に関する地震情報発表等への対応について

名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校

東海地震に関する地震情報に対する対応は、小中学校のほとんど、また高等学校の多くが「予知情報（警戒宣言）の発表」時点からとしています。

しかし、本校は生徒の通学区域が広いこともあり、生徒のみなさんの安全避難を第一とする観点から、「予知情報（警戒宣言）の発表」よりも一段階前の「注意情報の発表」で対応することとしています。

東海大地震は、東南海地震と連動して起こることも想定されており、近い将来には必ず起こる災害です。被害を最小限に抑えるために、日頃から地震に対する備えを十分にするとともに、家族でも話し合い、いざというときに困ることがないように、確認や約束をしておいてください。

1 地震防災の対応時点

東海地震「注意情報」が報道された時点で、本校は直ちに全ての教育活動を停止し、地震防災態勢に入ります。

2 東海地震「注意情報」の報道等と避難の原則

東海地震「注意情報」が発表された場合	在宅時	<ul style="list-style-type: none">学校は直ちに防災態勢に入ります。「注意情報」が解除されるまで休校とします。生徒は自宅や避難所にとどまり、登校しないこととします。
	登下校時	<ul style="list-style-type: none">学校は直ちに防災態勢に入ります。「注意情報」が解除されるまで休校とします。交通状況等を確認の上、生徒は速やかに帰宅させます。
	在校時	<ul style="list-style-type: none">学校は直ちにすべての教育活動を停止し、防災態勢に入ります。交通状況等を確認の上、「緊急下校」の措置をとります。「注意情報」が解除されるまで休校とします。
突発的な大地震が発生した場合		<ul style="list-style-type: none">生徒の安全避難を第一とします。安全に下校できる状況が確認できるまで、学校待機とします。安全な下校が可能と判断された時点で、「緊急下校」の措置をとります。

(注) 1 「注意情報」が報道されても、公共交通機関は通常どおり運行されます。

2 生徒のみなさんが帰宅する場合は「緊急下校指導態勢」をとり、職員が学校周辺や交通拠点等で指導し、安全に帰宅できるようにします。

3 帰宅後は、無事に帰宅した旨を学校に連絡してください。学校への連絡方法はNTTの伝言ダイヤルまたはインターネットメールで行ってください。

3 備考

(1) 東海地震に関する地震情報が報道された場合、**自家用車ででの出迎えはしないのが原則**です。多くの人が一斉に車を使用すれば、道路は混雑し、防災・救援活動に支障を来すことになるからです。

(2) 「注意情報」や「予知情報（警戒宣言）」が出された後は、**電話による通話をしないのがマナー**です。緊急通話の妨げになります。

(3) 「注意情報」や「予知情報（警戒宣言）」が出た場合、あるいは突発的に地震が起こった際に、家族間でどのように連絡を取り合うか、その方法を決めておいてください。自宅近くの避難場所も確認しておいてください。

東海大地震に備えるために

名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校

1 東海地震に関する情報が発表されたら、どうするか？

東海地震に関する情報発表には、次のように3段階あります。

危険度大	観測情報	観測データに異常が見られたが、地震の前兆ではないとわかった場合。 観測データに異常が見られたが、地震の前兆とすぐには判断できない場合。
	注意情報	観測データに異常が見られ、地震の前兆である可能性が高まった場合。
	予知情報	地震発生の恐れがあると判断された場合。「警戒宣言」も出されます。

(1) 観測情報が発表されたら → 落ち着いて！ まだ青信号です。

観測情報が発表されても、授業やその他の活動は平常どおり行われます。

校外にいる場合

- ・ いつもどおりの生活を続けてかまいません。ただちに地震につながるという情報ではありませんから、パニックを起こさないようにしましょう。
- ・ ただし、テレビや携帯電話等で最新の情報を得るように努めましょう。

校内にいる場合

- ・ 学校が情報収集しますので、皆さんは先生方の指示に従い、落ち着いて行動してください。

(2) 注意情報が発表されたら → いよいよ黄信号です！

注意情報が発表された場合、授業などの全活動はただちに中止され、学校は防災体制に入ります。注意情報が解除されるまで、学校は休校します。

注意情報から予知情報に切り替わり、「警戒宣言」が出されるまでには、最も早くても数時間の余裕があります。冷静な判断と落ち着いた行動に心がけてください。

校外にいる場合

- ・ 政府が行う防災に関する呼びかけや市町村等が定めた防災計画に従って行動してください。
- ・ 交通機関は通常どおり運行しますから、基本的にはまず自宅に帰り、そこで待機することです。
- ・ テレビやラジオ等で最新の情報を得るように努めましょう。
- ・ 電話での通話は、110番と119番以外はしないことが緊急時のマナーです。家族や友人と連絡を取りたくになりますが、その通話が回線をパンクさせ、防災や救援のための重要な通話を妨げてしまうからです（携帯電話は通話もメールも困難な状態になります）。
- ・ 外出している場合でも、家族に車で迎えに来てもらうことはしてはいけません。自家用車が道をふさぎ、緊急車両の妨げになるからです。

校内にいる場合

- ・ 先生方の指示に従い、速やかに帰宅してください。
- ・ 注意情報の発表で多くの人々が一斉に帰宅するため、混雑や混乱が予想されます。帰宅に通常以上の時間もかかります。くれぐれも安全に心がけてください。

(3) 予知情報が発表されたら さあ、赤信号です。

「予知情報」は、現象の変化が急激な場合には、「観測情報」や「注意情報」を飛び越えて発表されることもあります。この場合、授業などの全活動はただちに中止され、学校は防災体制に入ります。予知情報(警戒宣言)が解除され、さらに「注意情報」が解除されるまで、学校は休校します。

校外にいる場合

- ・ 政府が行う防災に関する呼びかけや市町村等が定めた防災計画に従って行動してください。
- ・ 交通機関は運行停止となります。係員等の指示に従って、広域避難所等へ避難しましょう。
- ・ 自宅や自宅近くにいる場合には、自宅あるいは自宅付近の広域避難所で待機することです。緊急時にどこに避難するか、日頃から家族で決めておきましょう。
- ・ テレビやラジオ等で最新の情報を得るように努めましょう。
- ・ 電話での通話は、110番と119番以外はしないことが緊急時のマナーです。
- ・ 外出している場合でも、家族に車で迎えに来てもらうことはしてはいけません。

校内にいる場合

- ・ 「予知情報(警戒宣言)」が解除されるまで、基本的には学校で待機することになります。
- ・ 先生方の指示に従って行動してください。

自分の身は自分で守らなければなりません。

そのためには、大地震が起きる前に、家族とよく話し合い確認しておかなければなりません。

- ・ 帰宅方法はどうか？
- ・ 避難場所はどこにするか？
- ・ 連絡方法はどうか？

「東海大地震があっても、高蔵の教職員・生徒からは一人の被害者も出さない」を合言葉に、日頃からの地震への備えを万全にしましょう。

東海地震に備えるために

名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校

[学校の対応]

予知情報・注意情報が解除されるまで

休校が続きます。

注意情報が出たら、すぐ授業は中止です。

注意情報解除まで休校が続きます。

学校は

いつもどおり行われます。

東海地震

予知情報 (警戒宣言)

数時間～数日の間に地震が起こると考えられます。
厳重な警戒を！

東海地震

注意情報

観測データによると地震の起きる可能性が出てきました。
今後の情報に十分な注意を！

東海地震

観測情報

観測データに異常がありました。地震につながるかどうかは、まだ不明です。

[どう行動するか]

- ・ 市町村が定める防災計画に従って行動しましょう
- ・ テレビなどで情報の収集に努め、地震に備えましょう！
- ・ 110番・119番以外、電話をかけるはいけません。
(緊急通話の妨げになります)

- ・ 注意情報が発表されたとき
 - 登校前・帰宅後**
→自宅にとどまります。
 - 登下校中**
→自宅に戻ります。
 - 在校中**
→先生の指示により帰宅します。
- ・ テレビなどで情報の収集に努め、地震に備えましょう！
- ・ 110番・119番以外、電話をかけるはいけません。
(緊急通話の妨げになります)

- ・ 平常の生活でかまいません。
- ・ いつもどおり登校しましょう。
- ・ 休日の部活動では、先生の指示に従って行動しましょう。
- ・ 個人の外出では、遠出を避けましょう。
- ・ テレビなどで情報の収集に努めましょう！

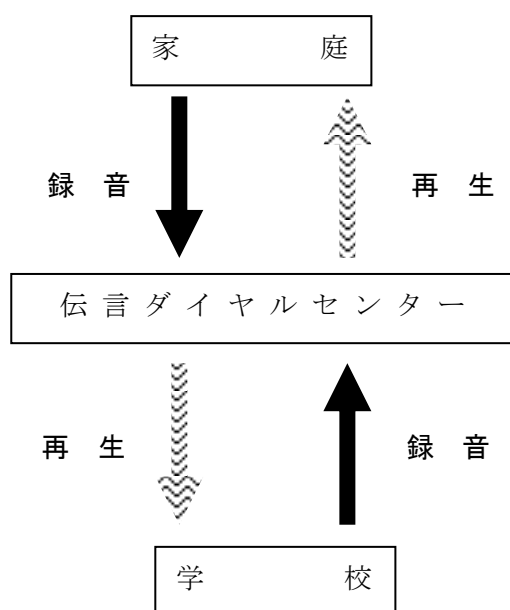
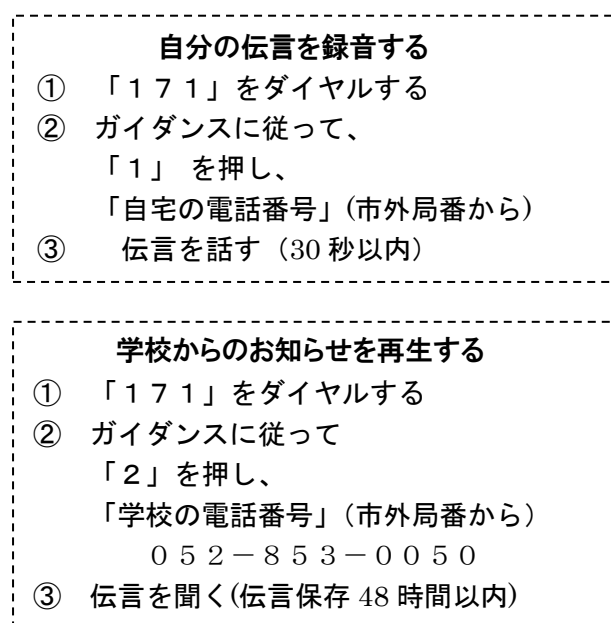
非常時における学校との連絡方法

災害伝言ダイヤルサービス(171)^{いない}

- ・ 非常災害時に利用できる「声の伝言板」です。
- ・ このサービスが始まると、テレビ・ラジオを通じて利用方法等の案内があります。

《利用方法》

「171」をダイヤルし、流れてくるガイダンスに従って操作をします。



(例1) 学校へ、帰宅したことを知らせておこう！

「171」・・・「1」・・・「052-〇〇〇-〇〇〇〇」(自宅の電話番号)
『高〇の△組 〇〇〇〇です。午後6時30分、自宅に戻りました』

(例2) 授業はいつ再開されるのかしら？

「171」・・・「2」・・・「052-853-0050」
『本校の生徒に被害はありません。〇月〇日より授業を再開します』

インターネット・メール

パソコンの利用が可能な場合は、インターネット・メールで連絡できます。

学校に安否の連絡をする場合 → e-mail takakura@educet.plala.or.jp

学校からの情報を知る場合 → ホームページ <http://www.takakura-hj.info/>